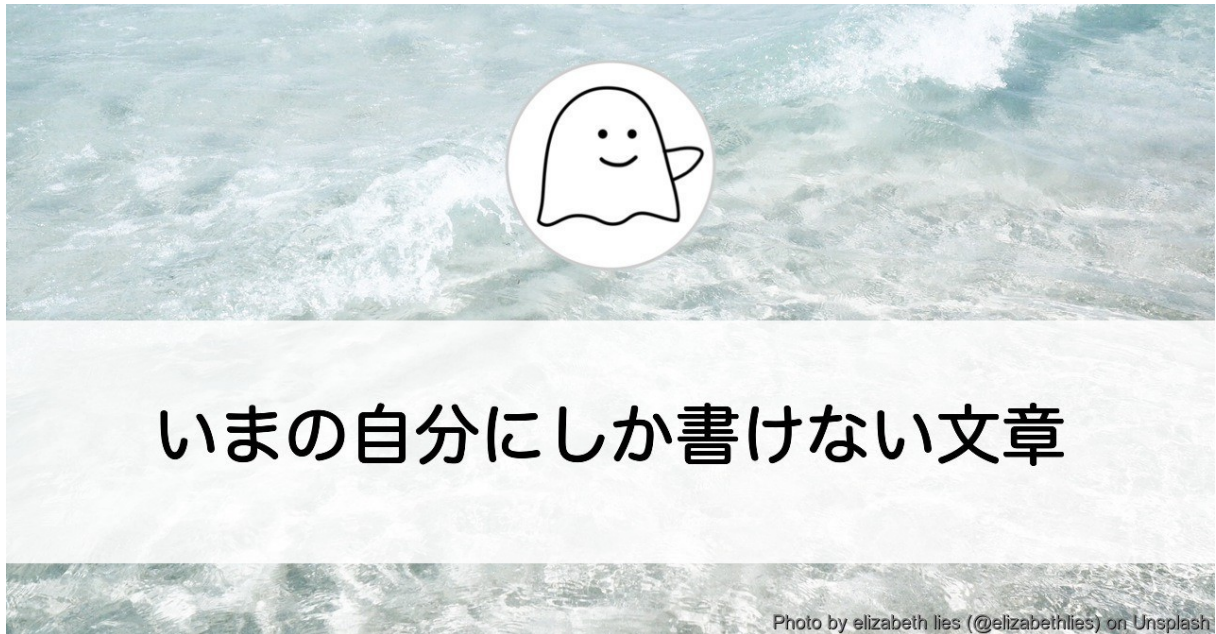


いまの自分にしか書けない文章を、書こう！（文章を書く心がけ）

結城浩の「コミュニケーションの心がけ」2018年2月20日 Vol.308 より



「心の物語」というコーナーを先日アップデートしていました。

このコーナーは、結城が1996年（当時32歳）から2006年（当時42歳）にかけて書いていた短いお話たちを集めたもの。ほとんどが一分も掛からず読めるような、ほんとうに短い「物語」です。

これらの物語を書いたのは、何か目的があったわけではありません。でもいま読み返すと、私としては、これらを書いていたときの自分の心情を思い「なるほど」と感じる場所があります。

当時は自分なりに思い悩むことがありました。仕事のこと、どんなふう生きていくのか、世界のあり方と自分の関わりについてなど。正解のない、結論の出ないことをもやもやと考えていました。

そんな中で、これらの「心の物語」と題した文章を「やむにやまれず」書いていました。たぶん、これらの文章を書くことは、自分の心のために必要なプロセスだったのだと思うのです。「心の物語」というコーナー名もそれを象徴しているようですね。

* * *

人生には「そのときにしか書けない文章」というものがあります。もっと経験を積んでから書くのではない。もっと勉強してから書くのでもない。経験を積んでから、勉強してから書いたのでは意味のない文章です。

それは「いまの自分」にしか書けない文章です。「いまの自分」が書かなければ、世界中の誰も書くことができない文章。未来の自分にも書くことができない文章というものがあるのです。

* * *

文章を書くとなると、どうしても、「上手くなってから書きたい」とか、「下手な文章は恥ずかしい」という思いがわくものです。

しかし、いまは「文章が上手・下手」という話をしていてではありません。「自分の足跡を残す」という話をしていてのです。自分が歩む足跡を残すのに、上手いとか下手とかいってもしようがありません。

いま、ここに私は生きていて、他ならぬ私が言葉を選び、並べ、悩みと迷いのうちにリリースする文章があるのです。それは、世界中で私一人だけが書く、過去から未来までを通して現在しか書けない文章です。

書こう！書こう！書かなくてはいけません！

* * *

文章を書こうとすると、足を引っ張る人が必ず現れます。必ずです。

「おまえの書くものに価値はない」

「もっとちゃんと勉強してから書いたら？」

「文章を書くななんて何様？」

「どうせ続けられないくせに」

そのような雑音をわざわざ伝えに来る人が現れます。ときにはその「人」は自分自身だったりします。

蹴飛ばそう！

そんな言葉は、心のうちで蹴飛ばしてしまえ！

* * *

もしもあなたが文章を書きたいと思うなら。

なぜかはわからないけれど、やむにやまれず書きたい気持ちに押し出されるなら。

書こう。ただ、書こう。

自分を含めた誰かが足を引っ張ろうが、モチベーションを下げてこようが、否定的な言葉を投げかけてこようが。

とにかく、書こう。書くんだけ。

「おまえの書くものに価値はない」

とにかく書かなければ価値があるかどうかすらわからない。**だから、書く。**

「もっとちゃんと勉強してから書いたら？」

書くこと自体が勉強なのだ。書き続けることが勉強なのだ。**だから、書く。**

「文章を書くななんて何様？」

私は私。いま、ここにいるのは他ならぬ私だ。**だから、書く。**

「どうせ続けられないくせに」

そんな言葉に惑わされたら続けられない。**だから、書く。**

* * *

他者の批判に耳を傾けないということではない。他者のアドバイスを受け入れないという意味ではない。

とにかく書かなければ、批判もアドバイスもあったものじゃないという意味だ。まずは、書こう。まずは、形にしよう。

すべての話はそれからだ。

* * *

あなたにネガティブな言葉を投げつけるネガティブ氏は、五年経っても十年経っても、ネガティブな言葉を投げつけてくるだろう。

もしかしたら十年後に、「この十年、何も書いてこなかったね」とネガティブ氏は言ってくるかもしれない。

そんな輩に振り回されず、あなたはあなたでしっかり書こう。五年でも十年でも、書き続けよう。あなたが書き続けた時間はあなたの宝物だ。誰にも奪うことのできない、あなたの宝物だ。

ネガティブな言葉を投げつけてくる人は、その人のロジックで動いている。受け入れるか否かはあなたの選択だ。

「この人のいうように、私なんか文章を書いても意味ないな」

と考えるのか、

「いや、私は書き続ける」

と考えるのか。

それは、ネガティブ氏の選択ではない。それはあなた自身の選択なのだ。

さあ、書こう！

いまの自分にしか書けない文章を、書こう！

<https://mm.hyuki.net/n/n0187cf7c1689>